特別養護老人ホーム 渡里すずらん苑

2016 - 2 - 10 発行

第112号 平成28年 2月号





社会福祉法人

T310-0903

水戸市堀町字北ノ前95番地

TEL 029-257-9555

FAX 029-257-9666

http://www. watarisuzuranen.jp/ 編集者:石井 利明



ショートステイ ・ デイサービス

ケアプランセンター

こころ安らぐ 鎮守の森

た。戦後ようコーミ・・・長久を祈る守り神でもありまし長久を祈る守り神でもありまし がれてきております。心の拠り所として大切に受けは地元住民の思い出や日本人 するのも、趣き深いものです。 平和になった今日では、 んでいる村社をゆったりと参 戦後も七十年を数えすっか が、各地に祀られ静 誘ひ など名高 の思い出や日本人 名高い神社が賑ねる高い神社が賑ねる。 元 日本人の の と参詣と参詣と り

年当苑から直接歩いて詣近くなので、天気に恵まれ 指に 康等を祈願して参りました。 ります。今年も多数の方が参 ご家族様の安全やご自身 さて今年もすずらん苑では、一 日にご近所の吉田神社 行って来ました。 、に恵まれれば毎 境内がすぐ りの健 があれば毎

これからも心安っ、とこれからも心を映し続けてきた、鎮守の森」、のがあります。古来より日本人のがあります。古来より日本人のがあります。古来より日本人の 心を映し続けてのがあります。 遺産 これからも心安らぐ貴重な文化 欲しいものです。 自然遺産として後世に

毎年恒例の

りますように」との挨拶のあと、 ;子舞の披露や福笑いなどを行 元気で明るい 催しものの後は、 新年会』。 一年間 施設長



なが 春御 ラオケを。 いただき (1月十五日) ら を



今年は

めでたさも」ひとしおです

- すずらん節分祭
- 吉田神社節分詣
- 音楽療法
- 理学療法
- 書道教室
- 唱歌クラブ
- 手作りおや つ
- すずらん喫茶
- \bigcirc コープ移動販売会







仰





馴染みの昔話は、 花形でした。 皆様に好評です。 紙芝居と いえば、 笠地蔵」 今の時代にな ほ のぼの感」 後 (月二十三日) など 楽 おの







あ〜あ すすり泣き

あんこ椿はあんこ椿は

よせる思いが 灯ともえて

惚れちゃならない

都の人に

北へなびけば 思い出す 三原山から 吹き出す煙

ました。

(|月十九日)

を敷き琴の音を聴きながら、

ったり感を楽しみ

茶」をいただきました。

赤毛氈

新春のすずらん喫茶は

お抹

すずらん喫茶 は 初釜

から

冬の防災訓練を行いました。 より火災発生との想定のもと、 理の徹底を確認しあいました。 一月二十日に、 なによりも火の元管 は特に乾燥する時期 ゆりユニット



Ш 野

は恋

の花

あんこ便りはあんこ便りは 波の彼方へ いったきり 船が行く行く 三日おくれの いくら好きでも あなたは遠 波浮港 便りをのせて

